

とろ〜り甘いサトイモをつくろう

栽培のポイント

●サトイモ栽培は水管理！

サトイモは多量の水分を必要とする作物です。
特に真夏は乾燥しないよう、地温の下がった夕方から早朝にかけてたっぷりとカン水をしてください。
(昼間は水温と湿度が上がるので病気の元になります)

●サトイモづくりはデンプン作り！

デンプンがたくさん詰まったサトイモは、とろけるような食感と甘みがあり、貯蔵性もバツゲン！

●小まめな土寄せ手入れが大切！

イモの品質を高めるために土寄せ作業はとても重要です。
マルチ除去後は追肥とともに土寄せを行いましょう。
定期的な追肥と土寄せが増収のポイントです。



サトイモの施肥提案 (1 a = 30坪)

肥料名	元肥 作付2週間前	追肥① 植付30日後	追肥② 追肥①の20~30日おき	追肥③ 収穫予定20日前
MリンPK	2kg	2kg	2kg	2kg
バクヤーゼK	30kg			
NK化成	6kg	3kg	3kg	
備考		マルチ除去後、追肥と土寄せをしましょう。	追肥と一緒に土寄せをしましょう。	収穫20日前のMリンPK追肥はイモの品質を高めます。



雨が多いときは、MリンPKを多めにする。

梅雨明けが早く晴天が続いていたら、NK化成を多めに施肥。梅雨明け後の日照り傾向のときは200~300Lカン水。

【生育調整のポイント】

干ばつ傾向の時	リーフアップN 500倍液を葉面散布 窒素とミネラルの補給
曇天傾向の時	Pフォスタ 500倍液を葉面散布 イモの肥大促進、耐病性強化、貯蔵性向上
多雨・過繁茂の時	MリンPK 2~4kg 施用・排水路の作製